

令和元年度事業報告書

平成 31 年 4 月 1 日から令和 2 年 3 月 31 日まで

1. 事業実施の報告

東日本大震災から 9 年目となり、本年もこれまで同様四倉漁港及び四倉海岸を活かした観光交流拠点づくりに向けて行政と協働で取り組みながら、同時に他地域との広域交流等を通じて地元風評被害の払拭を図ることにより、地域の振興と活性化を図ってまいりました。

10 月には台風水害による断水の影響を受けたフードコートの営業休止、年明けには新型コロナウイルスの影響により 2 月 3 月と大幅に需要が冷え込んだ中で決算を迎えることになり、新年度にも大きな影響を及ぼすものと予測しているところです。

今後につきましても、これまで以上に地域の皆様との支え合い、誇りを持って次世代にバトンを渡せる、開かれた美しく住みやすい四倉町にするべく、いわき市北部の広域連携拠点構想に基づき立ち上げました「NSC 協議会」の組織活動をさらに活性化し、いわき市北部地区・双葉郡南部の復旧、復興に向け、行政並びに他団体等の協働・連携により地域の復興支援に貢献してまいりたいと考えております。

(1) 農林漁業による地域の活性化を図る事業

① 「海山味寄港と漁業 PR 活動」

東京電力福島第一原子力発電所の事故により、水産業の生産者は風評被害に苦しまされている中、道の駅よつくら港交流館直売所を中心に地産地消・消費拡大を図りました。

11 月 23 日 24 日に「海山味寄港」では奥会津の三島町等といわき・四倉との交流祭りとして、地元ホッキ貝のむき、焼き体験と即売会、三島町等の奥会津の特産品などの物販を行いました。



議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

(2) まちづくりに関する他団体、行政、企業等との活動提携による地域活性化事業

① 明日をひらく人づくり事業「海と山の冒険隊」

四倉ふれあい市民会議と共同で、震災前から実施していたいわき市の親子と東京都港区の親子による地域間交流事業を 7 月 27 日 28 日と実施いたしました。



② 地域間交流事業「雪国交流事業」

会津三島町のサイの神雪まつりに、2 月 8 日 9 日で出店いたしました。



③ 東日本大震災遺児孤児支援事業

東日本大震災による遺児孤児や被災地域の子供たちを対象に保護者、地元地域社会の中で遺児孤児を育む拠点施設を建設し、保護者の方々、学校の先生方、地元の皆さんと一緒に、未来を担う子どもたちを暖かい愛で育み、子どもたちを支援することを目的として、遺児等への支援活動を継続して行うための施設「親子体験テント」「ねぶたの展示コーナー」「凧の展示コーナー」の維持管理を支援いたしました。



④ 東日本大震災 3.11 祈りの集い事業の支援

令和 2 年 3 月 11 日、東日本大震災の追悼慰霊祭を道の駅よつくら港にて開催いたしました。千葉県市原市の有志の方からのお花もいただき献花台を設置いたしました。午後 2 時 46 分には約 20 名の市民と共に追悼を行いました。

議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



⑤ その他、まちづくり、地域活性化活動への参画

5月開催の四倉諏訪神社例大祭での子供みこし、7月開催の四倉ねぶたといわきおどりの夕べ、8月の四倉鎮魂復興花火大会、10月のハロウィン祭り、12月開催のよつクリスマスへの協力、その他自衛隊広報キャラバンを始めとする地域貢献活動に積極的に参画いたしました。



議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件



(3) 道の駅よつくら港の運営

道の駅よつくら港はおかげさまでリニューアルオープンから 7 周年を迎えることとなりました。会員の皆様、地域の皆様には心より感謝申し上げます。

2 階フードコートにおいては、海の見えるカウンター席の設置を行った効果、季節ごとの新メニュー効果もあり前年増となりました。また老朽化に伴い故障が頻発していた券売機をキュッシュレス化に対応した新しい機械に交換した結果、動作不良頻度の低減、混雑時の行列改善につながる効果となりました。



1 階直売所においては、地元の新鮮野菜果物、地元産品、お弁当の拡販に努め、他の同業者との差別化を意識した活動を実施いたしました。

販売促進活動としては、インターネットの有料広告機能を初めて活用し、毎月のよかつぺ市「感謝祭」の PR を実施いたしました。

また、自動釣銭機を導入し、現金受け渡しミス・



議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

不一致の撲滅と、レジ作業の効率化を実現することができました。

事務所内のパソコンについては、老朽化に伴う動作不良が頻発しておりましたが、入れ替えを実施したことにより解消いたしました。

また、9 月 8 日の福島空港のイベントに出店、秋には弁当祭りを開催するなど PR 活動の強化を実施いたしました。



顧客満足度向上対策としては、引き続きアンケート用紙を継続し、直売所・フードコート別に具体的な評価と要望事項を把握できるようにし、その結果は毎週一回集約しております。同時にインターネット上でのクチコミ、評価の情報収集と相手方への返信活動も積極的に行い、その結果はテナント・従業員全員に回覧掲示し毎月の店舗会議を通じて改善活動につなげました。

従業員教育活動においては、毎年実施している防火・救命訓練の他に、「研修旅行」「従業員ミーティング」を実施いたしました。パートタイマー従業員の多い当法人としては、人手不足の中において働き方改革の法令遵守と高齢者の積極的な雇用を並行し、子育て世代の従業員が働きやすいシフトの作成等を考慮し推進してまいりました。



(4) まちづくりに関する公共施設の管理、運営事業

① 道の駅よつくら港漁港施設管理業務委託

道の駅よつくら港漁港施設の維持管理に努め、環境美化活動を推進しました。

議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

② 道の駅よつくら港情報館指定管理

道の駅よつくら港情報館はいわき市から委託され、道の駅利用者の利便性と情報提供を図ってきました。(写真はイメージ)



2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
農林漁業による地域の活性化を図る事業	海山味寄港、ホッキPR	R1. 6. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	6人	いわき市 内外	240
まちづくりに関する 他団体、行政、企業 等との活動提携による 地域活性化事業	明日をひらく人づくり事業	R1. 10. 1 ～ R2. 2. 29	東京都 港区 三島町	10人	いわき市 内	200
	その他事業	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市	50人	いわき市 内外	850
まちづくりに関する 公共施設の管理、運 営事業	道の駅よつくら港 漁港施設管理業務 委託	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	5人	いわき市 内外	4, 439
	道の駅よつくら港 情報館指定管理	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	3人	いわき市 内外	8, 584
まちづくりに関する 広報誌、情報交換、 情報発信事業	ホームページ、イ ベント等の交流広 報活動	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	2人	いわき市 内外	125

(2) その他の事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲	支出額事業費 (千円)
物品の販売事業	道の駅よつくら港 交流館直売所	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	6人	いわき市 内外	177, 600
施設管理運営事業	道の駅よつくら港 交流館	H31. 4. 1 ～ R2. 3. 31	いわき市 四倉町	10人	いわき市 内外	40, 444

議案第 1 号

令和元年度(第 11 期)の事業報告及び財産目録、貸借対照表、活動計算書承認に関する件

3 損益の概況

(1) 特定非営利活動に係る事業

特定非営利活動に係る事業におきましては、年々助成金事業の支給打ち切りや縮小の傾向が進んでおります。

そのような環境下において、会員の拡大による会費収入の増を実現することができましたが、今後も安定して事業を継続するためには、さらなる会員の拡大の一方、活動事業自体の「選択と集中」及びこれまでと異なる「実施方法の見直し」が不可欠であります。

しかしながら今年度は公共施設の管理、事業収益が増加しました結果、収益は 17,906 千円(前年比 2,522 千円の増)、経常増減額は 501 千円(前年比 2,539 千円の増)となりました。

(2) その他の事業

その他の事業におきましては、道の駅よつくら港の運営事業の安定収益確保が最大の使命であり、売上拡大策・コスト改善策の両輪で経営活動を行っております。

売上拡大策においては、地場産品と弁当への特化とフードコートの活性化を実現するため、店舗会議の充実・顧客満足度向上対策の強化による従業員およびテナントの意識改革対策の実行、インターネットを活用した見込み客への PR 活動に重点を入れました。

コスト改善策については、定休日の設定および閑散期である冬期営業時間の短縮による固定費の削減、不採算事業の中止を実施いたしました。

次に設備投資については、1 階のレジ、2 階券売機、パソコン、什器備品の入れ替えを実施いたしました。

その結果、売上高 226,296 千円(前年比 1,834 千円の増)、経常増減額は 8,818 千円(前年比 794 千円の増)となりました。

